

# 安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

## ★今月の事故★



すべての災害は防ぐ  
ことができる

### 1. 事故の概要（就業中）

公共の庁舎清掃作業で、階段を上から下に向かって清掃している時に、ふいに平衡感覚を失い、バランスを崩した。階段から落ちてしまいそうな危険を感じたことから、とっさに下から3段目から床に飛び降り、右足で着地したため、全体重が右足の踵に集中的にかかり、当該箇所を骨折し入院した。

### 2. 事故の原因

当日、体調が少し悪かったので休もうと思ったが無理をして仕事に出ていた。休憩を取りながら仕事をしていたが、下を向いて掃き掃除をしている時に、平衡感覚を失いふらついてしまった。

### 3. 事故後の対応及び再発防止策

#### 【センター】

- ① 理事会、安全管理委員会で事故について報告した。
- ② 会員へ「安全は全てに優先する」ということ、また、体調が悪い時は、無理をせずセンターに連絡して休むことをセンターの広報紙で周知した。
- ③ 業務担当から会員へ、就業前の「安全点検ミーティングチェックシート」を使用し、就業前の体調の自己確認をするように周知した。

#### 【連合本部】

- ① 今回作業中になぜバランスを崩したのか、作業状況に問題はなかったか等の検証を行い、階段のようなバランスを崩しやすい場所での作業は十分に気を付けるよう、改めて各会員に注意喚起するよう指導した。
- ② 連合会の理事会や事務局長会議、担当者会議等において、事故について報告し、注意喚起を行う。

### 4. 全シ協から

今回の事故は、当日、体調が悪かったにもかかわらず責任感から無理してしまったことが原因でしたが、高齢者が転落・転倒しやすい要因としては、体や感覚の衰えといった「身体的な要因」と、環境にかかわる「環境的な要因」の2つがあります。

「身体的な要因」として挙げられるのは、加齢に伴う筋力の衰え、老眼や白内障などの視力の低下、周囲の生活状況が把握しづらくなるといったことです。また、姿勢を保持する平衡感覚などの低下によってわずかな段差などでもつまずきやすくなるほか、歩行速度が落ちて歩幅が狭くなり、転倒・転落につながりやすくなります。さらに、薬の副作用によるふらつきやめまいなどで転倒・転落することも少なくありません。

一方、「環境的な要因」としては、「滑りやすい床」「階段に障害物」「小さな段差」などが多いと、転倒・転落のリスクは高まります。「仕事を急ごう」とすると、心理的な焦りから、より転びやすくなります。

階段での作業や移動に階段を使用する際は、前方や足元が見えなくなるような荷物の持ち方をしないように気をつけ、後ろ向きでの作業の際は特に気をつけましょう。

高齢者の踵骨折は、踵骨は形が複雑で、骨折の形も複雑になりやすいことから治療の難しい骨折といわれています。歩行時痛や坂道や凸凹道等の安全歩行が困難になり、長時間の立位が困難になることから高所での作業が不可能となります。入院期間が長期間にわたることが多く、後遺障害を残すことも多いことから、退院後に通常の生活に戻ることが困難になりますので、くれぐれもお気をつけください。

## 令和3年5月（令和3年度）事故速報

### (1) 重篤事故

5月は、1件の重篤事故報告がありました。

5月までの累計で比較してみると、令和2年度の5件と比して令和3年度は2件と3件減少しています。

また、就業者・就業途上別にみると、就業者では令和2年度の5件と比して1件と4件の減少となっており、就業途上については、令和2年度の0件と比して1件と1件の増加となっています。

5月報告分までの累計

令和3年度累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				令和2年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	就業中	5	2	3	5	0	
就業途上	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)	就業途上	0	0	0	0	0	
計	2(1)	1(1)	1(0)	1(0)	1(1)	計	5	2	3	5	0	

↳ 対前年度比 40.0% ( )は、当月報告分です。

## 5月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
2	女 85 歳	就業途上 (死亡)	自宅から徒歩で就業先の公園の清掃に向かう途中、信号機のない横断歩道付近を横断していて軽乗用車にはねられ死亡。 原因は軽自動車の運転手の前方不注意による過失が主たる要因だが、早朝の暗い時間帯に道路を横断する際、左右の安全確認が不足していたこともあるのではないか。	—	—	徒歩

### (2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

5月は、就業中の事故16件、就業途上の事故6件と、合計22件であり、昨年度同月の12件と比して10件の増加となっています。また、男女別では、男性は7件の増加となっており、女性は3件の増加となっています。

5月までの累計で比較してみると、昨年度の23件と比して、本年度は39件と16件の増加となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は28件で11件の増加となっており、就業途上は11件で5件の増加となっています。男女別では、男性は7件の増加となっており、女性は12件で9件の増加となっています。

#### 令和3年度5月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		5月	累計	5月	累計	5月	累計	5月	累計
就 業 中	植木・樹木の剪定等	4(2)	11(6)	4(2)	11(6)	0(0)	0(0)	74	75
	除草作業	4(2)	4(2)	3(2)	3(2)	1(0)	1(0)	73	73
	屋内・屋外清掃作業	5(2)	7(3)	3(1)	4(1)	2(1)	3(2)	72	74
	その他	3(4)	6(6)	3(4)	4(6)	0(0)	2(0)	77	76
	計	16(10)	28(17)	13(9)	22(15)	3(1)	6(2)	74	75
就 業 途 上	交 徒歩	2(1)	4(1)	1(0)	1(0)	1(1)	3(1)	76	78
	通 自転車	2(1)	4(5)	2(1)	2(5)	0(0)	2(0)	79	80
	手 バイク	2(0)	3(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	74	72
	段 自動車	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	—	—
	計	6(2)	11(6)	4(1)	5(5)	2(1)	6(1)	76	77
合 計		22(12)	39(23)	17(10)	27(20)	5(2)	12(3)	74	75

( )は令和2年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

### (3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故(休業1ヶ月以上)

3月は合計13件であり、前年同月の6件と比較して7件の増加となっています。また、男女別では、男性は5件の増加となっており、女性は2件の増加となっています。

今月は令和2年度分の確定月となります。本年度は118件となり前年度より15件増加、男女別の内訳は、男性が70件となり前年度より9件増加、女性が48件となり前年度より6件増加となっています。

なお、3月に死亡事故はありませんでした。

#### 令和2年度分(4月～3月)

仕事の型(中分類)	中分類コード	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		3月	累計	3月	累計	3月	累計	3月	累計
建築・土木・測量技術者	9	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	—	—
社会福祉の専門的職業	16	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
一般事務の職業	25	1 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	69	69
出荷・受付係事務員	27	0 (1)	2 (3)	0 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (1)	—	72
商品販売の職業	32	0 (0)	1 (4)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (3)	—	70
家庭生活支援サービスの職業	35	1 (0)	12 (2)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	10 (1)	75	74
介護サービスの職業	36	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	—	71
保健医療の職業	37	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	78
生活衛生サービスの職業	38	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	74
飲食物調理の職業	39	0 (1)	1 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (8)	—	78
接客・給士の職業	40	0 (0)	0 (5)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (4)	—	—
施設・ビル等の管理の職業	41	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	—	71
その他のサービスの職業	42	1 (1)	3 (5)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	2 (5)	73	72
農業の職業	46	0 (1)	1 (2)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	—	77
生産設備制御・監視の職業 (金属材料製造)	49	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	66
生産設備制御・監視の職業 (機械組立)	51	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
めっき工、金属研磨工	52	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
製品製造・加工処理の職業	54	1 (0)	8 (3)	1 (0)	1 (2)	0 (0)	7 (1)	76	72
機械整備・修理の職業	60	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
製品検査の職業	62	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	63
生産関連・生産類似の職業	64	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	—	74
自動車運転の職業	66	0 (0)	2 (3)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	—	73
建設の職業	71	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	—	69
採掘の職業	74	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	—	—
運搬の職業	75	0 (0)	4 (7)	0 (0)	4 (7)	0 (0)	0 (0)	—	68
清掃の業務	76	3 (1)	23 (18)	2 (1)	15 (10)	1 (0)	8 (8)	74	72
包装の職業	77	0 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	—	68
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	6 (1)	47 (30)	4 (1)	34 (22)	2 (0)	13 (8)	73	72
計	—	13 (6)	118 (103)	9 (4)	70 (61)	4 (2)	48 (42)	73	72

#### (4) シルバー派遣事業における通勤災害報告の事故(休業1ヶ月以上)

令和2年度は、合計41件で昨年度の24件から17件の大幅な増加となりました。通勤の型別では「転倒」が28件で、昨年度の14件の2倍に増加し、全体の68%を占めています。「交通事故(道路)」は10件で、昨年度の9件と比して1件の増加、その他「激突」、新たに「墜落・転落」、「踏抜き」各1件となっています。男女別の内訳は男性14件で4件の増加、女性は27件で13件の増加となっています。

なお、死亡事故はありませんでした。

	事故の型	事故数(件)	男性(件)	女性(件)	平均年齢(歳)
通勤 災害	転倒	28(14)	8(5)	20(9)	73
	交通事故(道路)	10(9)	6(5)	4(4)	74
	激突	1(1)	0(0)	1(1)	70
	墜落・転落	1(0)	0(0)	1(0)	67
	踏抜き	1(0)	0(0)	1(0)	72
	計	41(24)	14(10)	27(14)	73

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害(休業日数4日以上又は死亡)」、「派遣労働会員の通勤災害(休業日数4日以上又は死亡)」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害(業務・通勤ともに)が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。  
(令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済)

### ★令和3年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター等が決定されました★

令和3年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター等表彰団体は、安全就業優秀・優良シルバー人材センター等選定委員会において以下のとおり決定しましたので、お知らせいたします。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

#### 【優秀賞】

- 江別市シルバー人材センター(北海道)
- 上田地域シルバー人材センター(長野県)
- 北栄町シルバー人材センター(鳥取県)
- 鳥取市シルバー人材センター(鳥取県)
- 米子広域シルバー人材センター(鳥取県)
- 篠栗町シルバー人材センター(福岡県)

#### 【優良賞】

- 天童市シルバー人材センター(山形県)
- 那須塩原市シルバー人材センター(栃木県)
- 東庄町シルバー人材センター(千葉県)
- 十日町地域シルバー人材センター(新潟県)
- 五泉市シルバー人材センター(新潟県)
- 能美市シルバー人材センター(石川県)
- 吉田町シルバー人材センター(静岡県)
- 東郷町シルバー人材センター(愛知県)
- 桑名市シルバー人材センター(三重県)
- 鳴門市シルバー人材センター(徳島県)
- 筑前町シルバー人材センター(福岡県)
- 大木町シルバー人材センター(福岡県)
- 天草市シルバー人材センター(熊本県)

#### 【優良連合賞】

- 大分県シルバー人材センター連合会



## ★ 安全・適正就業強化月間 ★

◎ 国が実施する「全国安全週間」に合わせ、7月は「安全・適正就業強化月間」の月です。職員、会員の皆さんで組織をあげて、事故の撲滅を図り「安心・安全」のシルバー事業の発展を図りましょう。

### 1 安全・適正就業強化月間

令和3年7月1日から令和3年7月31日までとする。

### 2 全国統一スローガン

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

(令和4年度までの全国共通スローガン)

### 3 シルバー人材センターで取り組む事項

- (1) 安全・適正就業委員会の開催、「安全・適正就業対策基本計画」の策定及び事故の要因分析と具体的な防止策の徹底
- (2) 重篤事故につながる就業の見直し
  - ア 危険・有害な作業は受託しないこと
  - イ 作業別安全・適正就業基準に掲げる安全保護具の完全着用の徹底を図ること  
なお、安全帽・墜落制止用器具（安全帯）等の安全保護具を未着装のもとで就業した場合、申し合わせによって事故の有無に拘わらず就業者には就業停止等の措置を講じるなど安全就業の徹底を図ること
  - ウ 健康チェックや健康講話等の実施、健康診断の積極的な奨励などの健康増進策を図ること
- (3) ヒヤリ・ハット体験事例を収集し、要因を分析した対策を講じた事故の防止の徹底
- (4) 損害賠償責任保険事故の防止
- (5) 就業途上における交通事故の防止
  - ア 交通安全に関する講習会の実施及び交通安全対策の徹底
  - イ 事故多発エリアのロードマップ等の作成
  - ウ 徒歩、自転車及びバイクでの事故の防止の徹底
- (6) 安全就業対策の総点検の実施
  - ア 就業前、就業後の安全意識等の徹底
  - イ 機械器具の点検と整備の徹底
  - ウ 安全保護具の点検と整備の徹底
  - エ 巡回パトロールの重点実施
  - オ 就業現場の総点検
  - カ 交通安全対策の徹底

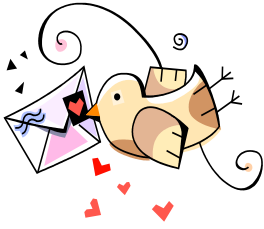
- (7) 安全就業の研修及び点検
  - 安全就業に係る事例発表を含む研修会、講習会等の実施
- (8) 「適正就業ガイドライン」に沿った業務運営の実施
  - ア 新入会員、新規発注者等に対する「適正就業ガイドライン」の周知（ガイドラインの配布、説明）の徹底
  - イ 「受注リスト」等による請負・委任契約の点検の徹底
  - ウ 会員と発注者との間に指揮命令関係が生じる可能性のある請負・委任契約については、就業実態を確認の上、不適正と認められる場合には、適切に労働者派遣契約への切替等の対応を行うこと
  - エ 適正な請負・委任契約書、仕様書の作成及び取り交わしの徹底
- (9) 会員からの安全標語の募集、シルバー人材センター・施設・就業現場等への安全標語、垂れ幕、ノボリ等の掲示などによる会員すべての安全意識の徹底
- (10) 会報等への安全意識啓発のための特集記事の掲載
- (11) 会員に対して安全意識啓発及び情報の共有化を図るための資料等の配布など
- (12) 月間中における「安全意識高揚の日」の設定及び安全表彰の実施

#### 4 シルバー人材センター連合本部で取り組む事項

- (1) シルバー人材センターに対する指導・助言
- (2) 安全大会及び安全表彰の実施
- (3) 安全・適正就業に関する研修会、講習会等の実施
- (4) 巡回パトロールの実施
- (5) シルバー人材センターの月間行事の実施についての指導・援助
- (6) 安全就業及び適正就業に係る取組事例等の情報収集及び作成・提供

安全・適正就業強化月間における実施と併せて年間計画を策定し、効果的に取り組みましょう





# 安全リレー

～香川県における安全就業の取り組み～

## 公益社団法人 香川県シルバー人材センター連合会の概要

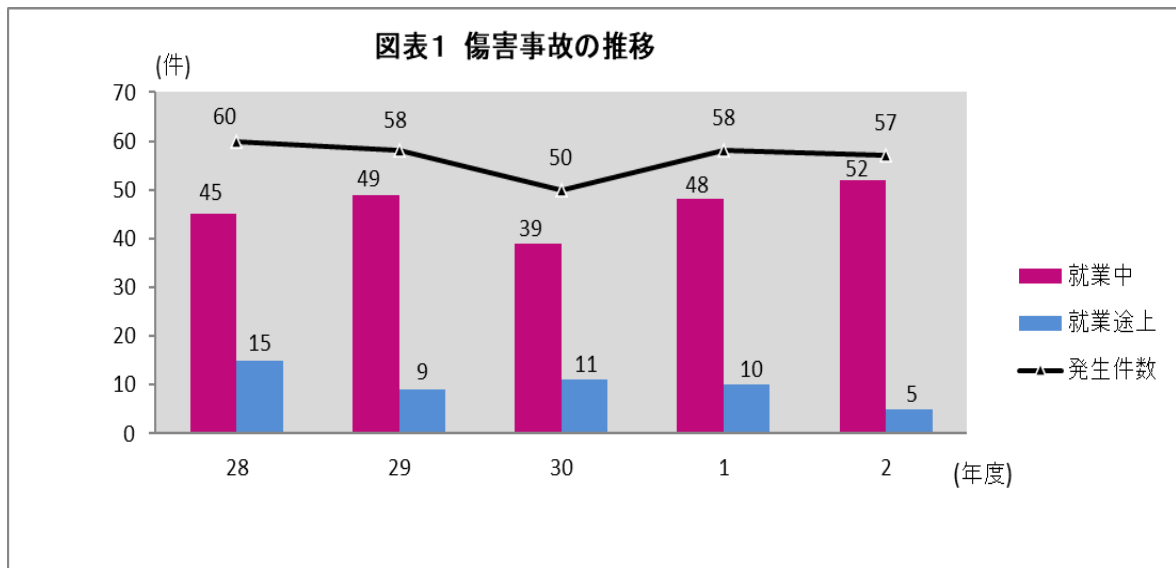
(令和3年3月31日現在)

センター数	15 団体 (法人シルバー12 拠点、小規模シルバー3 拠点)
会員数	6,963 人 (男 4,249 人 女 2,714 人)
粗入会率	1.9%
受注件数	41,980 件 (派遣含む)
契約金額	3,334,029 千円 (派遣含む)
就業実人員	5,665 人 (派遣含む)
就業率	81.4% (派遣含む)
就業延人員	711,336 人日 (派遣含む)

### 1 事故発生状況(シルバー保険適用事故)

(1) 過去5年間の傷害・賠償事故件数

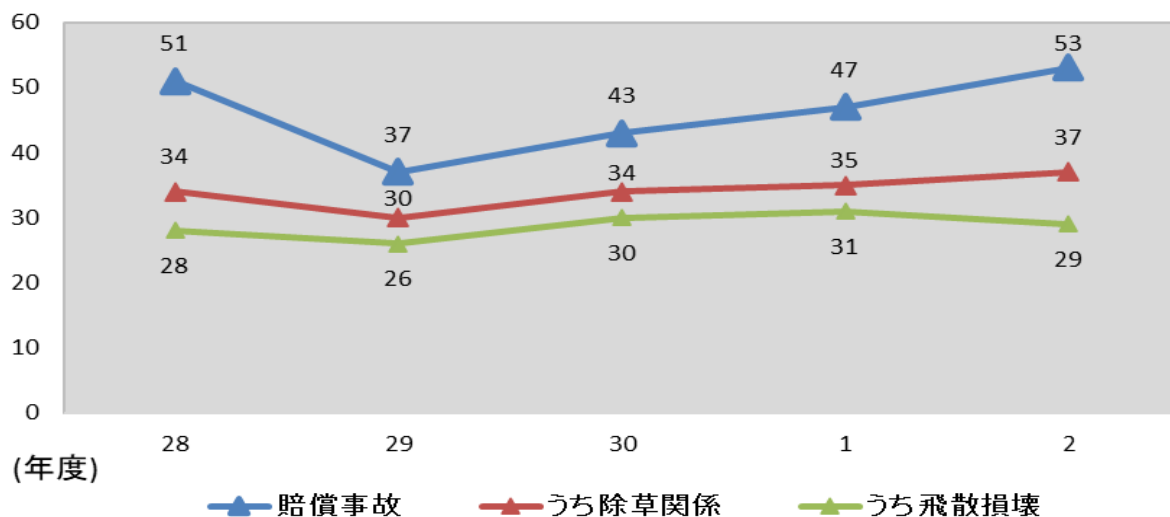
事故内訳		年 度				
		28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度
傷害事故 (図表 1)	就業中	45	49	39	48	52
	就業途上	15	9	11	10	5
	合計	60	58	50	58	57
賠償事故 (図表 2)		51	37	43	47	53





(件)

図表2 賠償事故の推移



## (2) 過去5年間の型別事故件数

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		前年度比 件数増減
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	
墜落・転落	10	16.7	17	29.3	10	20.0	8	13.8	17	29.8	9
転倒	19	31.7	13	22.4	14	28.0	12	20.7	7	12.3	△5
激突	2	3.3	2	3.4	2	4.0	3	5.2	2	3.5	△1
飛来・落下	3	5.0	1	1.7	3	6.0	4	6.9	0	0.0	△4
はさまれ・巻き込まれ	1	1.7	4	6.9	0	0.0	0	0.0	2	3.5	2
切れ・こすれ	5	8.3	6	10.3	5	10.0	8	13.8	9	15.8	1
高温・低温の物との接触	0	0.0	1	1.7	1	2.0	1	1.7	1	1.8	0
踏抜き	3	5.0	0	0.0	0	0.0	1	1.7	0	0.0	△1
交通事故	10	16.7	8	13.8	9	18.0	8	13.8	4	7.0	△4
動作の反動・無理な動作	4	6.7	0	0.0	3	6.0	3	5.2	2	3.5	△1
蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ	3	5.0	5	8.6	2	4.0	10	17.2	12	21.1	2
その他	0	0.0	1	1.7	1	2.0	0	0.0	1	1.8	1
計	60	100.0	58	100.0	50	100.0	58	100.0	57	100.0	△1

## 【事故の概要】

傷害事故件数については、令和2年度は57件となり、前年度より1件減少しました。この内、就業中の件数は、安全就業に重点をおいて各種対策を実施したものの結果52件と4件増加した一方、就業途上の件数は前年度より半減しました。令和2年度の事故の型別で多くを占めているのは、墜落・転落17件(29.8%)、蜂刺され12件(21.1%)、切れ・こすれ9件(15.8%)、転倒7件(12.3%)などで、とりわけ墜落・転落は、「剪定作業」中の発生が多く、また夏場の「除草作業」中の蜂刺されが、多くなっています。

一方、損害賠償事故については、前年度より6件増加して53件となっており、過去5

年間のうち最も事故の少なかった平成29年度の37件と比較すると、1.4倍まで増えています。このうち刈払い機による除草作業で、小石などが飛散して自動車や家屋などを損壊する事故は、例年30件前後発生しています。

## 2 令和2年度安全就業への取り組み

### (1) 安全・適正就業委員会、安全・適正就業対策推進会議の開催

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、安全・適正就業対策を効果的かつ着実に実施するための委員会や協議会も、書類送付による意見照会形式で開催しました。

例年どおり委員会では「安全・適正就業推進計画」を審議、策定した後、この計画の実行性を図るため、各センターの安全・適正就業推進員で構成する安全・適正就業対策推進会議で具体的な協議を行いました。

### (2) 安全・適正就業委員パトロール

例年安全・適正就業の強化月間の7月に実施しているパトロールも今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、10月～11月にかけて安全・適正就業委員により、除草・剪定作業を中心に県内6センターを巡回パトロールし、現場で就業状況の確認や危険な恐れのある行為等があれば注意、指導を実施しました。

その結果を踏まえて、委員会で協議・検討して、各センターの事務局における安全対策、また作業全般に関する留意点、中でも事故の多い除草作業と剪定作業に関するポイント、巡回時に気づいた不安全行動なども記載した「安全就業への取組みについて」の周知文書を全センターへ送付して、今後の安全就業対策に対する注意喚起を図りました。



(安全パトロール風景)

### (3) 剪定作業安全研修会

剪定作業における知識、技能を高めるため、会員を対象に9月17日、剪定作業安全研修会を実施し、11センターから24名が受講しました。今回は、墜落制止用器具(安全帯)のうちでも、シルバー会員には、義務付けされていませんがフルハーネス型の装着体験も参考として取り入れました。

受講者から「両足を包み込み窮屈であるが、安全性は高まると感じた。」「作業に適した器具を着けて、事故防止に努めることが大切だ。」など研修による効果に、手ごたえを感じることができました。



(実技体験風景)

#### (4) 交通安全教室の開催

就業途上の自転車事故の減少を図るため、8月28日に「交通安全教室」を開催しました。当日は、一般財団法人香川県交通安全協会「交通安全教育推進隊」にお願いして、座学やDVD視聴、自転車シミュレーター、敏捷性を測るクイック・アーム、クイック・ステップを活用した体験型講習会を実施しました。全国シルバー人材センター事業協会発行の「事故に学ぶ交通安全のポイント」冊子も配付して、交通安全意識の高揚を図りました。

当日、コロナ感染防止のため参加人員の規模を縮小して実施し、県内11センターから20名の会員、職員が参加されました。自転車シミュレーター体験者から「慣れている自転車でも、画面を見ながら交通ルールを守る運転は、なかなか難しい。」、またクイック・アームやクイック・ステップ体験者からは、「年を寄せて瞬間的な判断、動作が遅れる」などの声が多く聞かれました。安全意識の高揚を図るために、今後とも研修の機会を作ることの重要性を再認識しました。



(交通安全講話)



(自転車シミュレーター試乗中)



(クイック・アーム)



(クイック・ステップ)

#### (5) 無事故キャンペーンの実施とその結果

安全就業推進強化キャンペーンを実施しました。このうち、キャンペーン期間が8月31日までの除草作業については、3センターが、また、キャンペーン期間が11月30日までの剪定作業については、8センターが無事故を達成するなど、一定のキャンペーン効果もありました。

#### (6) シルバー派遣による運転業務に係る安全就業基準の状況調査の実施と結果

平成31年4月1日に施行した、この基準の運用状況を、毎年調査しております。地域の事情により交代要員の確保が難しく、基準年齢を超えたセンターが一部あるものの、ほぼ基準の年齢制限内で運用されておりました。

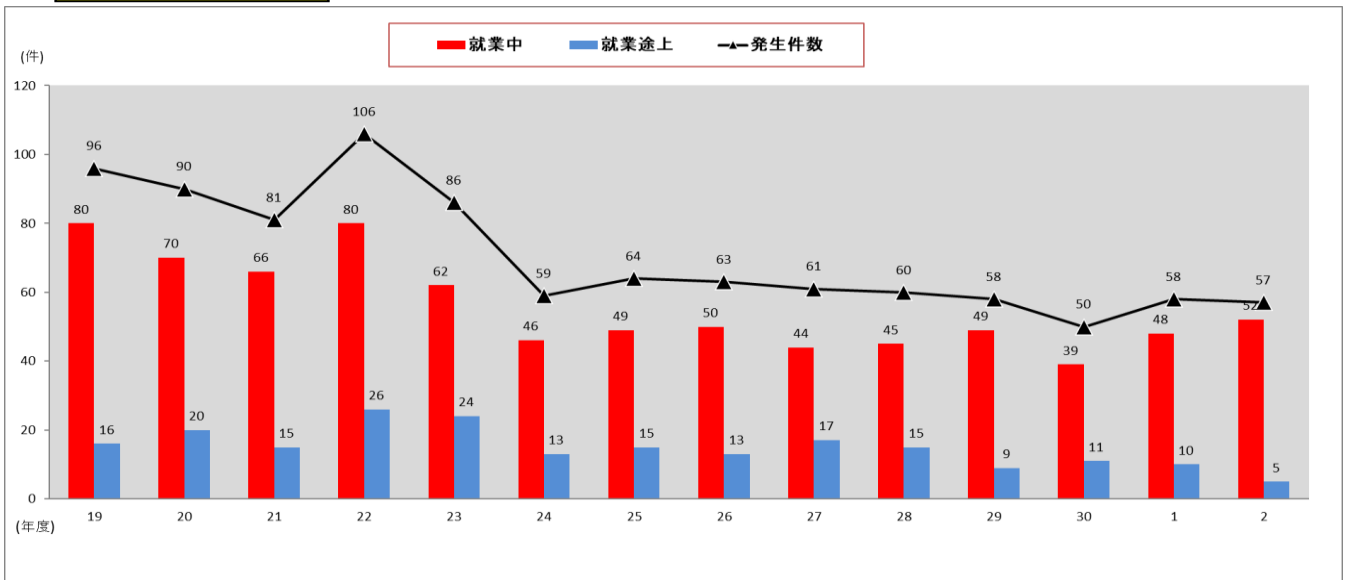
### 3 今後の安全就業への取り組み

前述のとおり、従来から、シルバー人材センターの安全就業の推進に関しては、全国シルバー人材センター事業協会の事業計画に沿って、本連合の内部組織として設置している安全・適正就業委員会で審議された安全・適正就業推進計画に基づき、実施しております。

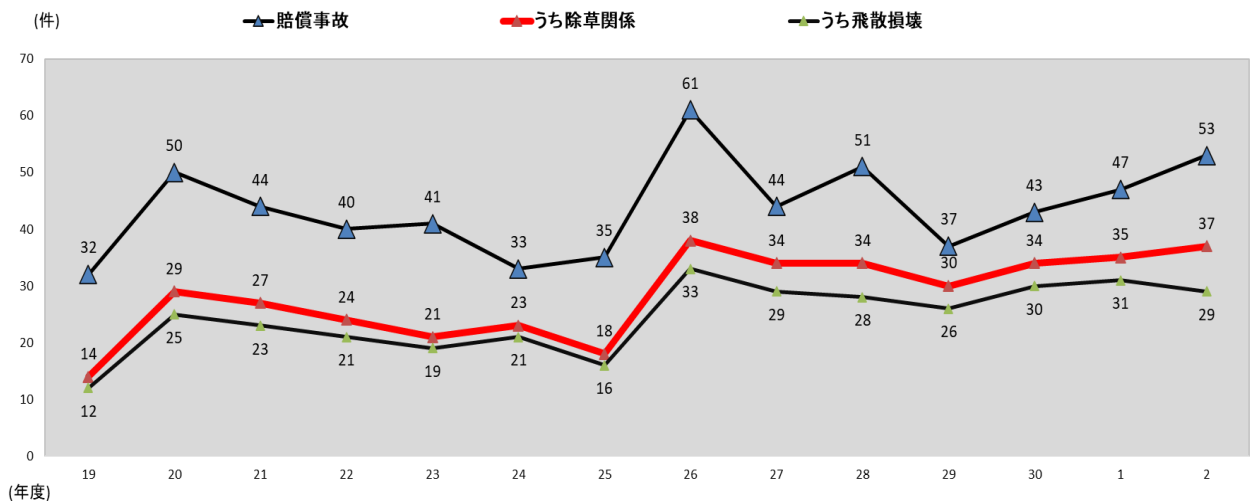
この委員会の実行組織として各センターの安全担当者が構成する安全・適正就業対策推進会議を設けて、安全に繋がるような事業推進を行っております。全シ協で集計された都道府県別重篤事故年度別推移表(H27～R1年の5カ年間)を見ますと、会員数当たりでは本県が最も高く、非常に危惧しているところです。

会員数が少ない連合会ほど、少ない事故件数でも、高率化するという傾向ではありますが、やはり、事故を起こさない、起きたら再発させないという意気込みで、センター・連合会が連携して安全就業の徹底に取り組んでいきたいと思っております。

#### 傷害事故の推移



#### 損害事故の推移

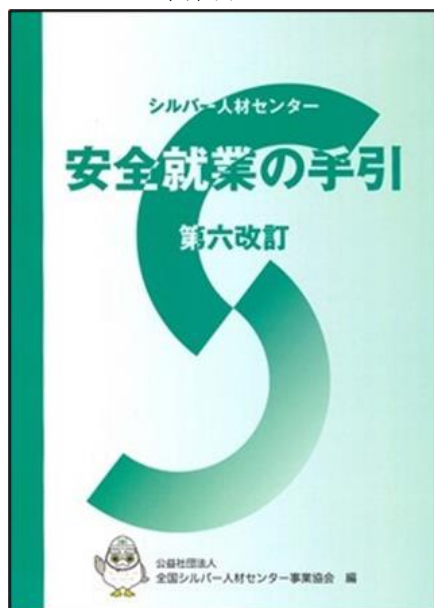


香川県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。  
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。



## 「安全就業の手引 第六改訂」のお知らせ

表紙イメージ



「

本書は、平成2年に初版「シルバー人材センターの安全作業と会員の健康」（安全の手引）としてスタートし、第五改訂版が「安全・適正就業の手引」として編纂されてきたところです。

今回の第六改訂版については、シルバー派遣による就労拡大等の環境の変化を受け、「安全就業の手引」として、適正就業とは切り離してその充実を図った上で、編纂することとしました。

安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものであります。

「改訂版発行にあたって」より抜粋

価格 2,200円(税込、送料は実費です。  
お支払いの振込手数料はご負担いただきます)

お問い合わせは 企画情報課宛、下記 FAX または電子メールでお願いします。

FAX 03-5665-8021 E-mail: zsk@sjc.ne.jp

★ご購入は、全シ協会員専用ページの「頒布物の購入申込み」メニューからお申込みください。

★個人でのご購入は、冊数、お名前、郵便番号、住所、電話番号を明記したFAX・電子メール・郵便ハガキでお申し込みください。

## ★中災防で「高齢者向け安全と健康」のセミナー開催★

中央労働災害防止協会（中災防）は、高齢者のための安全と健康の各種セミナーを開催しています。

中災防ホームページで公開していますので、ご興味のある方は是非お申込みください。会員、職員の研修にご活用ください。

（中災防ホームページ「教育、セミナー・研修会」）

[https://www.jisha.or.jp/seminar/health/h3010\\_kounenrei\\_kiso.html](https://www.jisha.or.jp/seminar/health/h3010_kounenrei_kiso.html)



# 安全就業スローガン

「いつまでも 働く喜び 無事故から」



## チエブクロー反射缶バッジ

■商品No.012 チエブクロー反射缶バッジ

最小製作量：100個～、100個単位

100個	本体価格：@	490円(税別)
200個～	本体価格：@	390円(税別)
500個～	本体価格：@	300円(税別)
1000個～	本体価格：@	230円(税別)

サイズ：直径54mm  
納期：約4週間  
・クリップピン付  
・OPP袋入り

## チエブクロー缶バッジ

安全就業グッズ、普及啓発グッズとして



絵、文字以外の地の部分が反射します。  
※反射缶バッジは、背景部分が反射する為、  
背景色を入れることができません。

普及啓発グッズ、名札代わりにお勧め

## 編集後記

新型コロナ感染症による緊急事態宣言下の自粛生活も長期にわたりマンネリ化、東京の人出は増加傾向、感染者数は高止まり、私たちはいったい、何をどうすればよいのでしょうか。全シ協では毎年、無事故で安全に関する各種取組を積極的に行っているセンター等を表彰しています。今年度は1連合を含む20団体が受賞されました。受賞されたセンター、連合のみなさま、おめでとうございます。これも日頃からセンター、連合が中心となり、会員のみなさま一人ひとりが安全に対して、積極的に取り組んでいただいた賜物だと思います。この受賞を励みにこれからも常に安全を意識し、無事故が継続することを願っています。シルバー事業遂行の根幹をなす「安全就業」に努めていただければと思います。(松山)

「今日は何曜日？」朝起きると妻が毎日のようにこう訊いてきます。テレワーク続きで曜日の感覚がなくなるというのです。在宅でも出社しているのと同じように仕事が捗ると本人はいうのですが、曜日を忘れるというのは緊張感が欠如しているのでしょうか。私は妻と過ごす時間が増えたことで、また何か注意されるのでは？と緊張し逆に頭が冴えています(笑)。コロナ禍以前は仕事や友達と飲みに行くなど逃げ道がありましたが、今は家の中で居場所探しです。シルバー会員の皆さんも定年退職直後は家にいて奥様に煙たがられたりした経験をお持ちではないですか？シルバーで働くことで、いい距離感を生み夫婦円満となっているのではないのでしょうか。コロナの出現により生活様式が随分と変わりました。マスク生活、ソーシャルディスタンス、テレワークなどなど、様々な言葉や行動が生まれ、新しい対応に慣れずにいたことが嘘のように、いまや違和感なく過ごしています。疫病によって働き方改革がこれほどまでに進むというのも皮肉なものですね。

冒頭の話に戻りますが、非常に合理的と思えるリモートワークですが、パソコンに向かって会議をしたり文章を作成しても前頭葉の働きはあまりよくなりません。脳は人と接することで活発化すること。コロナに負けずシルバーの会員として、人と関わりながら続けていただけたら嬉しいです。(高木)